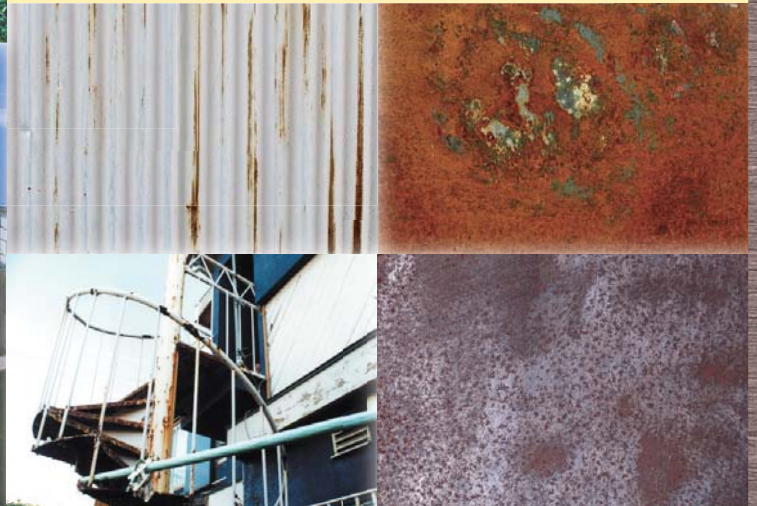


さび面浸透形プライマー

サビフィックス



取りきれないさびを安定化させ、
腐食の進行を防ぐ！



鉄部の改修における素地調整は、改装後の素地・塗膜の耐久性に大きな影響を与えます。さびを十分に除去すれば、それだけ素地・塗膜の耐久性は向上します。しかし実際の施工現場では、作業環境や作業部位によってさびの除去度合いに差が生じてしまい、さびを完全に除去するのは困難であるのが実情です。そこでケレン後の除去しきれない残存さびを安定化させ、その上に塗装される塗料の保護効果を最大限に引き出すために開発されたのが、さび面浸透形プライマー「サビフィックス」です。

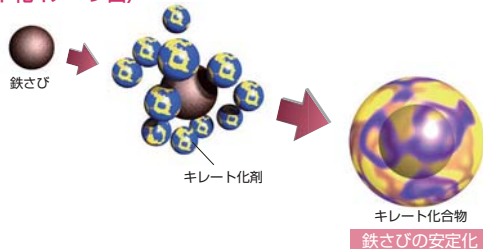
「サビフィックス」は、特殊変性エポキシ樹脂とキレート化剤がさび層に深く浸透し、化学的に鉄と反応することで無機/有機結合体（鉄のキレート化合物）を形成し、さびを安定化させます。

特長

さび面浸透性

特殊変性エポキシ樹脂とキレート化剤がさび面に深く浸透し、さび面を被覆するため、腐食性因子（塩素イオン、硫化物イオン、酸素）の浸入を防ぎます。

〈キレート化イメージ図〉



優れた密着性

鉄、亜鉛めっき鋼板などの各種金属板及びさび面と優れた密着性を示します。

環境対応

人体に有害なクロム、鉛を含まない安全設計です。

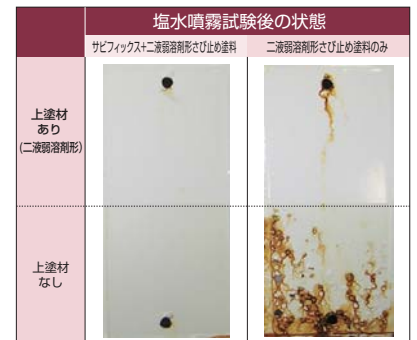
優れた防食性

キレート化剤の導入により、さびを安定化させることで腐食抑制効果を高めます。

◆塩水噴霧試験(1500時間)



※著しく劣化(さび発生)させ、その後ケレン処理したものを基材とする。



塗装仕様

◆補修塗り工程

(23℃)

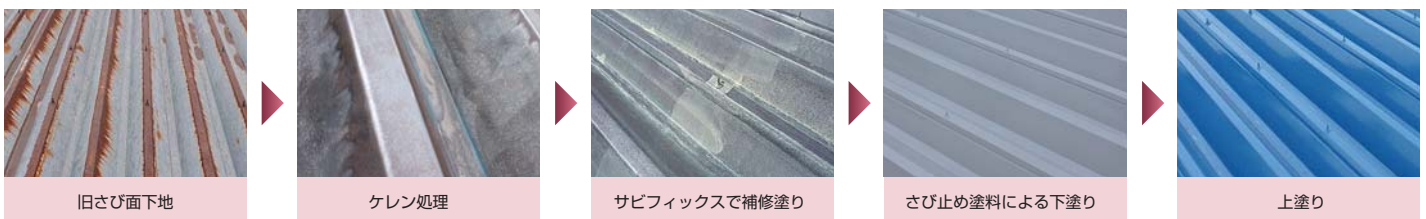
工程	使用材料	調合 (重量比)	所要量 (kg/m ²)	塗回数	間隔時間 (hr)		備考
					工程内	工程間	
※1 補修塗り	サビフィックス 主剤	100	0.10~0.15	1	—	※2 16以上 7日以内	ローラー、刷毛
	サビフィックス 硬化剤	12.5					
	塗料用シンナーA	0~15	—				

- ※1. 補修塗りを行った後には、必ずさび止め塗料による下塗りを行ってください。下塗りに使用できる材料は、①★マイルドサビガード (16kg石油缶、4kg缶)、②エスケーエボサビa (16kg石油缶、4kg缶)、③★SKマイルドポーセイ (16kgセット、4kgセット)、④★ミラクポーセイ M (18kgセット、4kgセット)⑤★スーパーポーセイエボ (16kgセット、4kgセット)⑥★ミラクガードRP (18kgセット、4kgセット)となります。
- ※2. サビフィックスと下塗りの工程間隔時間は、それぞれ①②③⑤⑥:16hr以上7日以内、④:24hr以上7日以内 (23℃) となります。塗装工程が、長期に亘る場合には、研磨紙などでサンディング後、下塗材を塗装してください。
- ※3. ★サビフィックスの標準膜厚は25μmです。標準膜厚は、標準的な塗装条件や下地を想定したときの目安を示したものです。膜厚は、塗装条件や器具、塗装部位の形状、下地の状態等によって異なりますので、ご了承ください。
- ※4. ★サビフィックスの可使用時間は5時間 (23℃) となります。
- ※5. ★塗料用シンナーAで希釈する製品については、★塗料用シンナーAの他、★塗料用シンナーXもご利用いただけます。ただし、その他の材料の使用は避けてください。
- ※6. 施工直後の降雨や湿潤面への塗装は、塗装物性に悪影響を及ぼすことがあるため避けてください。
- ※7. 塗装は、溶剤刷毛や短毛ローラーなどで全体的にむらなく塗付してください。
- ※8. サビフィックスを使用した刷毛、ローラーなどの塗装器具はラッカーシンナーなどで洗浄してください。
- ※9. 使い残した材料を元の缶に戻さないようにしてください。
- ※10. 素地調整が不可能な部位や無処理の素地には適しません。必ずケレン等の素地調整を行った後、サビフィックスを使用してください。
- ※11. 鉄部の旧塗膜は、脆弱なものから活膜まで多種多様な下地が考えられます。活膜と確認できる場合は、目荒しを推奨します。
- ※12. 施工環境下が塩害地域である場合は、被塗物表面に塩分粒子が固着していると考えられるため、水洗によりこれら塩分を除去してください。特に、水溜り部は塩分濃度が高いと推定されるため、これを遵守してください。塩分除去後の塗装は、被塗物表面が十分に乾燥した後に行ってください。なお、乾燥を早めるため、シンナー拭きをお薦めします。
- ※13. 動力工具及び手工具処理した後の被塗物表面は、油分や粉塵などが固着しているため、清浄なウェスにシンナーを染み込ませ、除去してください。また、清浄後の素地は再汚染されないよう早めの塗装を心掛けてください。
- ※14. エッジ、溶接部、ボルト部など、被塗物の形状により膜厚が付きにくい部位やさび頭が出る場合については増し塗り (2回) を行ってください。
- ※15. それぞれの鉄部塗装について詳しくは、「SKK 総合さび止め工法」のパンフレットをご参照ください。
- ※16. 性能に支障をきたす可能性がありますので、当社指定以外の材料を混ぜないでください。
- ※17. 材料は使用前に内容物が均一になるように十分に攪拌し、開栓後は速やかに一度に使い切ってください。また材料を保管する場合は、無希釈の材料をしっかりと密栓してから直射日光を避けた冷暗所に保管し、できるだけ早めに使い切ってください。

施工例(鉄部手すり)



施工例(トタン屋根)



用途

経年劣化した建築物の鉄部(建屋鉄骨、鉄扉、門扉、手すり、架台、軽量鉄骨、金属屋根等)、亜鉛めっき鋼板面などの補修

適用下地

鉄部、亜鉛めっき鋼板面などの各種旧塗膜(OP、フタル酸、塩化ゴム、アクリルラッカー、アクリルウレタン等)

可使用時間

5時間

荷姿

★サビフィックス 18kgセット(主剤:16kg石油缶、硬化剤:2kg缶)
(標準塗坪:120~180m²/セット)

4.5kgセット(主剤:4kg缶、硬化剤:0.5kg缶)
(標準塗坪:30~45m²/セット)

クリーム
(27-90F 近似)

※標準色は印刷のため、実物と異なる場合があります。なお、() 内は、(一社) 日本塗料工業会の近似色の色番号を表しています。
※上記の標準塗坪は一般的なものであり、下地の状態や環境などによる所要量の増減に応じて変わることがあります。ご了承ください。

危険情報と安全対策

製品の取り扱い、それぞれの安全データシート(SDS)に従ってください。
特に、★印のついている製品は溶剤形のため、下記の点にご注意ください。
1. 引火性の液体のため、火気厳禁です。
2. 有機溶剤中毒のおそれがあるため、換気に注意し、防毒マスクまたは送気マスクを使用するなどの安全対策を行ってください。
3. 施工においては、溶剤成分が室内に流入しないように十分注意してください。
※屋内作業等、使用環境によっては、特定化学物質障害予防規則、有機溶剤中毒予防規則等の規制を受ける場合があります。詳しくは別途、施工仕様書をご確認ください。

施工後の注意

本製品には、揮発性の化学物質が含まれております。塗装直後の引渡し等において、化学物質過敏症やアレルギー体質の方への安全対策に十分留意してください。

